

舞鶴市シティブランディングプロジェクト 市民アンケート調査の集計速報
～3,265 人の方に回答いただきました！～

- ・市では、今年度から市民の皆さんに地元への誇りや愛着といった「シビックプライド」を持ってもらえるよう、まちのイメージを戦略的に浸透させていくための「シティブランディング」に取り組んでいます。
- ・市民のまちに対するイメージなどを把握すると共に、市の資源や魅力の洗い出しを行うことを目的に、11月28日～12月23日に実施していた市民アンケート調査の回答を締め切りました。
- ・調査初日（11月28日）のショッピングセンターらぼーるでの街頭調査や無作為抽出で選ばれた2,000人の市民への郵送、ウェブやメール配信サービスでの呼びかけを行い、12月24日時点で3,265件の回答がありました。
- ・今後、回答の集計と調査・分析を行い、来年2月に分析結果を公表します。

【アンケート調査及び結果の概要】

◆実施期間

令和2年11月28日（土）～12月23日（水）

◆集計結果

3,265件（令和2年12月24日現在）

<内訳>

- ・無作為抽出該当者・・・407件
- ・ウェブ（ホームページ）・・・907件
- ・その他・・・644件
- ・高校生（東舞鶴、西舞鶴、日星）・・・1,307件

◆調査票及びちらしの配布先

- ・市ホームページや広報まいづる12月号に掲載
- ・住民基本台帳の19歳以上の中から無作為抽出で2,000人に郵送
- ・プロジェクトメンバーが各自で配布するほか、市内高等学校などに配布
- ・メール配信サービスや市公式LINEでの呼びかけ
- ・舞鶴商工会議所会報にちらしを同封



▲らぼーるでの街頭調査の様子

（裏面につづく）

【問い合わせ先】

広報広聴課：☎0773-66-1041

◆その他

- ・回答者の中から抽選で舞鶴かに®（3名）などが当たるキャンペーンの抽選は後日実施。

～「舞鶴がどんなまちになってほしいと思いますか？」の問いに対する意見（一部抜粋）

を紹介します～

- ・子どもたちが自信を持って「好き」と誇れるまちになってほしい
- ・街並み、施設、人すべてが魅力的で他の地域には負けない場所になってほしい
- ・住んでる人が誇りを持って舞鶴の魅力を語れるまち
- ・観光客だけでなく地元の人も楽しめる町になってほしい。
- ・生まれも育ちも嫁ぎ先も生涯の仕事も没する時も舞鶴で。と思えるまち。1度出ても帰ってきたいと思えるまち。
- ・北部を代表する市であって欲しい。

【参考】

◆主催

舞鶴市シティブランディングプロジェクト

- ・事務局…市広報広聴課
- ・事業委託…（株）天空 PR（委託業者）
- ・アドバイザー…徳山美津恵（関西大学 総合情報学部教授）
- ・市民、教育機関、市職員（下表のとおり）

堀口宏之	株式会社ホリグチ代表取締役
久下幸典	有限会社幾久鶴代表取締役
駒井克洋	株式会社ツクヨミラシン代表取締役 (アメイビストリアル)
川端康平	京都北都信用金庫
守島裕二	ラ・クラシック（フリースタイルフットボール）
山本佳史	ラ・クラシック（フリースタイルフットボール）
谷崎允哉	株式会社大阪マリン・FM まいづるパーソナリティ
長尾優	一般社団法人 KOKIN・ゲストハウス宰嘉庵管理人
市内3高等学校教諭（西舞鶴高、東舞鶴高、日星高、計3人）	
市舞鶴版 Society5.0 推進本部 戦略的広報チームメンバー（4人）	

【問い合わせ先】

広報広聴課： ☎0773-66-1041